

平成 30 年 10 月吉日

第 1 回
回復期リハビリテーション病棟協会 看護介護委員会
日本リハビリテーション看護学会
合同研修会

「リハビリテーション看護の再考」

～急性期・回復期・生活期をつなぐ～

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会
会 長 園田 茂
看護介護委員長 伊東 由美子

NPO法人 日本リハビリテーション看護学会
理 事 長 荒木 暁子

一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会 看護介護委員会とNPO法人日本リハビリテーション看護学会による平成30年度第1回合同研修会についてご案内いたします。

回復期リハビリテーション協会看護介護委員会では、回復期リハビリテーション病棟のケアの質向上を目指して、看護介護それぞれの専門性を高める研修会を重ねてきました。また、病棟で必要な知識等の習得に向けて、リーダーとなる看護師を育成する目的で回復期リハ看護師認定コースを開催しています。日本リハビリテーション看護学会は、平成元年に日本リハビリテーション看護研究会として発足し(平成4年学会へ名称変更)今年設立30周年を迎えました。リハビリテーション看護の知識及び技術の教育普及活動を行うとともに、リハビリテーション看護を行う者の育成に関する事業を行い、リハビリテーション看護の向上・発展に寄与する事を目的に活動しています。

そして、この度初めて両団体合同での研修会を開催する運びとなりました。

リハビリテーションの対象者とは、何らかの障害を持ったことでその人らしく生きることが困難になった人といえます。その障害を少しでも軽減し、または克服して自らの考えに基づき自分らしく生活するために、適切な知識や技術を身につけられるように支援することが看護師(または看護職および介護職)の重要な役割です。リハビリテーション看護の目的は「生活の再構築」であり、看護の焦点は、「生活をしている人」「障害を持った人」に当てられなければなりません。その対象となる人々は回復期のみならず急性期から生活期まで、どのステージにおいても存在します。今回の合同研修会では、急性期・回復期・生活期で活躍されている4名のシンポジストからそれぞれの立場でリハビリテーション看護を語っていただき、参加者の皆さま方と情報共有の場にしたいと考えております。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 時： 平成 30 年 12 月 2 日（日） 9：55～16：00 （9:30 受付開始）

会 場： 三田 NN ホール

（東京都港区芝 4-1-23 三田 NN ビル地下 1 階 Tel 03-5443-3233）

定 員： 130 名

参加費： 8,000 円

対 象： リハ・ケアにかかわる全ての専門職

回復期リハ看護師及びセラピストマネージャーのポイント対象研修会です。

（それぞれ 2 ポイント）

（遅刻・早退された場合はポイント付与が出来かねますのでご注意ください。）

定員に達しましたら、受付を終了させていただきます。ご了承ください。

昼食をご用意します。

第1回合同研修会プログラム

- 9:30～ 受付開始
- 9:55～10:00 開会挨拶 一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会
看護介護委員長
- 10:00～11:00 講義 「リハビリテーション看護への期待(仮称)」
一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会
会長 園田 茂
- 11:00～11:10 休憩
- 11:10～12:00 活動実践報告
(報告) NPO 法人日本リハビリテーション看護学会
副理事長 板倉 喜子
(報告) 一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会
看護介護委員長 伊東 由美子
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～15:00 シンポジウム
(座長)
寺山 みのり(回復期リハビリテーション病棟協会看護介護委員)
栗生田 友子(日本リハビリテーション看護学会副理事長)
(シンポジスト)
急性期の立場から 石川 ふみよ
(上智大学総合人間科学部看護学科 教授)
回復期の立場から
(看護) 一宮 禎美
(NTT 東日本伊豆病院 副看護部長)
(介護) 井村 太治
(西広島リハビリテーション病院 介護主任)
生活期の立場から 斉竹 一子
(@(あっと)訪問看護ステーション 所長)
- 15:00～15:10 休憩
- 15:10～16:00 情報交換会 看護介護委員
- 16:00 閉会挨拶 看護介護委員

プログラムは予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください

参加申込みの手続についてのご案内

1. 当協会ホームページから、ダウンロードした申込用紙に必要事項をご記入のうえ、回復期リハビリテーション病棟協会事務局までファックス送信してください。
2. 申込担当者も研修会に参加される場合は、改めて参加者氏名欄へご記入ください。
3. 受付確認後、回復期リハビリテーション病棟協会事務局より受付番号をファックス送信いたします。
4. 10日たっても連絡がない場合は受け付けていない可能性がございますので、必ず回復期リハビリテーション病棟協会事務局まで問合せをお願いします。
5. 定員に達した場合は受付を終了させていただきます。受付をお断りする場合であっても、回復期リハビリテーション病棟協会事務局からファックス送信にて返信します。
6. 受付番号がお手元に届きましたら、郵便局の払込取扱票へ記入いただきご入金ください。この際、受付番号が未記入の場合は受付できません。必ず、受付番号を記入のうえご入金ください。
7. 恐縮ですが、ご入金是指定期日までにお願いたします。
8. 参加費のお振込みに当たっては、通信欄等に必ず受付番号を記入してください。無記入の場合は、参加費入金確認が取れませんので、回復期リハビリテーション病棟協会事務局からお申し込み担当者宛に入金の催促をさせていただきます。
9. 参加証を兼ねた名札は事前にお手元に届くようにご送付します。入金が遅れる場合は回復期リハビリテーション病棟協会事務局までご一報下さい。なお、名札の発送につきましては、原則として入金確認後となります。
10. 名札は、病院名・職種・氏名を各自ご記入のうえ、研修会にご持参ください。
11. 研修会の受付時に、名札をご提示ください。研修会資料及び名札ケースをお渡しします。
12. 研修会期間中は、名札を胸につけていただくようお願いいたします。なお、研修終了時には名札ケースを回収いたしますので、回収にご協力ください。
13. 申込後に参加者が変更となった場合は、早急に回復期リハビリテーション病棟協会事務局までお知らせください。
14. 申込後に自己都合により、研修会参加をキャンセルされる場合は、回復期リハビリテーション病棟協会ホームページに掲載されている『研修会参加費のキャンセル料について』に記載の通り、返金等の手続きをさせていただきます。
なお、電話でのキャンセルは取り扱っておりませんので、必ず書面にてお知らせ下さい。
15. 参加は事前申込のみとなります。当日の参加受付はしてありません。
16. いただいた個人情報は、当協会プライバシーポリシーに従い、研修会の目的及び統計上のデータとしての利用以外には使用しません。
17. ご不明な点は、事務局までお問合せください。

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会事務局
〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-18-12 内神田東誠ビル 9階
電話：03-5281-8531 FAX：03-5281-8535 E-mail：kaifukuki@rehabili.jp

FAX 03-5281-8535 回復期リハビリテーション病棟協会 事務局宛

下記の太枠内に必要事項をご記入し、ファックスにてお申し込みください。

平成 30 年度 第 1 回 回復期リハ病棟協会・日本リハ看護学会 合同研修会 【申込書・受付票】

研修会名	月日	曜日	形式	会場(開催地)
第1回回復期リハ病棟協会・日本リハ看護学会 合同研修会	12月2日	日	講義	三田 NN ホール(東京都)

連絡先	ふりがな			(所属団体) 該当する団体に をしてください 1. 回復期リハ病棟協会会員病院 2. 日本リハ看護学会会員
	病院名			
	病院所在地	〒		
	ふりがな			申込担当者部署
	申込担当者	様		
申込担当者 連絡先	TEL	FAX		

申込担当者の方が参加される場合にも、下記参加者氏名にご記入ください。

間違えないようお願いください

No.	ふりがな 参加者氏名	職種(看護師、介護士、PT,OT,ST等)	回復期リハ病棟での 経験年数
1			年 月
2			年 月
3			年 月

定員になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。締め切りの場合は、その旨ご連絡させていただきます。申込み後のキャンセルはキャンセル料が発生いたします。当協会ホームページのキャンセル規程をご参照ください。

【事務局使用欄】